

Market Watching

発表日: 2020年11月16日(月)

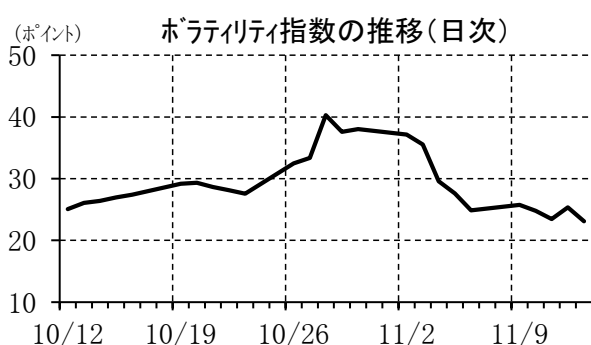
この冬の感染拡大にワクチンの効果は限定的(マーケットウィークリー)
～足元の景気に不安が生じて、ワクチン普及後の世界を待つことができるか～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
11月9日(月)	日本: 景気動向指数(9月)・CI一致指数 ・CI先行指数	+1.6pt +4.5pt	+1.3pt +4.4pt	+0.9pt +1.7t	前月差 前月差
11月10日(火)	日本: 国際収支統計(9月)・経常収支 日本: 景気ウォッチャー調査(10月)・先行き判断DI 中国: 消費者物価指数(10月) ドイツ: ZEW景況感調査(11月)・期待指数	+16,602 49.1 +0.5% +39.0	+20,201 50.1 +0.8% +44.0	+21,028 48.3 +1.7% +56.1	億円、原数値 前年比 ポイント
11月11日(水)	NZ: 金融政策委員会	0.25%	0.25%	0.25%	オフィシャルキャッシュレート
11月12日(木)	日本: 機械受注統計(9月)・船電除く民需 英国: 実質GDP速報値(7-9月期) 英国: 鉱工業生産(9月) ユーロ: 鉱工業生産(9月) 米国: 新規失業保険申請件数(11/7終了週) 米国: 消費者物価指数(10月)・総合 ・コア メキシコ: 金融政策決定会合	▲11.5% +15.5% +0.5% ▲0.4% 709 +1.2% +1.6% 4.25%	▲12.0% +15.8% +0.8% +0.7% 730 +1.3% +1.7% 4.00%	▲15.2% ▲19.8% +0.3% +0.7% 751 +1.4% +1.7% 4.25%	前年比 前期比 前月比 前月比 千件 前年比 前年比 銀行翌日物金利
11月13日(金)	ユーロ: 実質GDP改定値(7-9月期) 米国: ミシガン大学消費者信頼感指数(11月速報値)	+12.6% 77.0	+12.7% 82.0	+12.7% 81.8	前期比 ポイント
11月14日(土)	-	-	-	-	-
11月15日(日)	-	-	-	-	-



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.896	+7.8	+4.0	▲145.7	0.154	0.143	0.281
日本	0.020	+0.5	▲0.5	+7.0	0.027	0.025	0.003
ドイツ	-0.547	+7.4	+0.9	▲24.7	-0.588	-0.519	-0.481
豪州	0.881	+12.8	+3.3	▲39.0	0.816	0.855	0.886
株価							
NYダウ	29479.81	+4.1	+2.8	+6.1	28195	27952	26116
日経平均	25385.87	+4.4	+7.6	+8.9	23880	23385	21906
ユーロSTOXX50	3432.07	+7.1	+4.7	▲7.2	3210	3251	3165
上海総合	3310.10	▲0.1	▲1.5	+13.9	3307	3313	3091
為替相場							
ドル/円	104.63	+1.2	▲0.8	▲3.9	104.85	105.48	106.89
ユーロ/円	123.85	+0.9	▲0.0	+3.4	123.45	124.39	121.31
豪ドル/円	76.07	+1.4	+0.7	+2.2	75.01	75.83	72.91
ユーロ/ドル	1.1834	▲0.3	+0.8	+7.5	1.177	1.179	1.135
商品市況							
WTI	40.13	+8.1	▲0.2	▲29.7	39.47	40.35	36.07
金	1886.2	▲3.4	▲0.1	+28.9	1898	1924	1789

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (11/9~11/13) の金融市場は、有効性の高いワクチン開発の実現が高まったとの報道から、世界的に株価が大きく上昇した。日経平均株価はバブル崩壊後最高値、NYダウは取引時間中の過去最高値をそれぞれ更新した。為替市場でも、新興国通貨など高金利通貨が強含む一方で、低金利通貨は売られ、ドル円相場も一時1ドル=105円台まで円安が進んだ。

今週のマーケットは、先進諸国で拡大する新型コロナウイルスの感染と、ワクチン開発に対する期待とが綱引きとなるような展開が続くものと予想される。ワクチンに関しては、安全性などの最終確認を行った後、今週中にも緊急使用の許可を米当局に申請する見通しだ。順調に進展するようであれば、市場のリスク選好を高め、株高を後押しする要因となる。もっとも、順調にいったとしても、年内に生産されるワクチンは最大で5000万回分 (一人2回摂取するので2500万人分)、来年には最大で13億回分 (同6.5億人分) と発表されており、世界規模で見ればこのワクチンに限れば摂取できる人は少ない。来年の春までにワクチンを接種できる人は1~2億人程度にとどまると試算され、足元での北半球での感染の拡大が季節的な要因によるところが大きいとするならば、ワクチンが感染の拡大を食い止める効果は限定的と言えよう。したがって、この10~12月期と来年1~3月期の景気がどうなるかは、感染拡大次第ではあるものの、慎重に見ていた方がいいだろう。先週発表された10月の米ミシガン大消費者センチメントは、市場の予想に反し前月から低下したが、その原因も米国内での感染の再拡大 (第3波) によるところが大きいと判断される。今週は、10月分のNYとフィラデルフィアの景気指数が発表されるが、こちらも感染の拡大を背景に市場予想を明確に下回るようだと、市場は追加の景気対策を催促する相場展開に移行する可能性もある。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
11月16日(月)	日本：実質GDP（7-9月・一次速報）	★★★	+18.9%	▲28.1%	前期比年率
	中国：鉱工業生産（10月）	★★	+6.7%	+6.9%	前年比
	中国：小売売上高（10月）	★★★	+5.0%	+3.3%	前年比
	中国：固定資産投資（10月）	★★	+1.6%	+0.8%	年初来前年比
	米国：NY連銀製造業景気指数（11月）	★★★	+13.5	+11.0	ポイント
11月17日(火)	米国：小売売上高（10月）・全体	★★★	+0.5%	+1.9%	前月比
	・除自動車	★★★	+0.6%	+1.5%	前月比
	米国：鉱工業生産指数（10月）	★	+1.0%	▲0.6%	前月比
	米国：企業在庫（9月）		+0.5%	+0.3%	前年比
11月18日(水)	日本：貿易統計（10月）・輸出	★★★	▲4.5%	▲4.9%	前年比
	・輸入	★	▲9.0%	▲17.4%	前年比
	・貿易収支	★	+2,539	+6,878	億円
	タイ：金融政策委員会	★	0.50%	0.50%	翌日物レボ金利
	米国：住宅着工件数（10月）	★★	144.0	141.5	万件
11月19日(木)	フィリピン：金融政策決定会合	★	2.25%	2.25%	翌日物レボ金利
	トルコ：金融政策委員会	★	14.25%	10.25%	1週間物レボ金利
	米国：新規失業保険申請件数（11/14終了週）	★★	700	709	千件
	米国：フィデラル・NY連銀製造業景況感指数（11月）	★★★	+22.0	+32.3	ポイント
	米国：中古住宅販売件数（10月）	★	645	654	万件
	南ア：金融政策委員会	★	3.50%	3.50%	平均レボレート
11月20日(金)	日本：全国消費者物価指数（10月）・総合		▲0.4%	0.0%	前年比
	・除生鮮食品	★★	▲0.7%	▲0.3%	前年比
	英国：小売売上高（10月）・除自動車燃料	★	▲0.1%	+1.6%	前月比
11月21日(土)	—				
11月22日(日)	—				

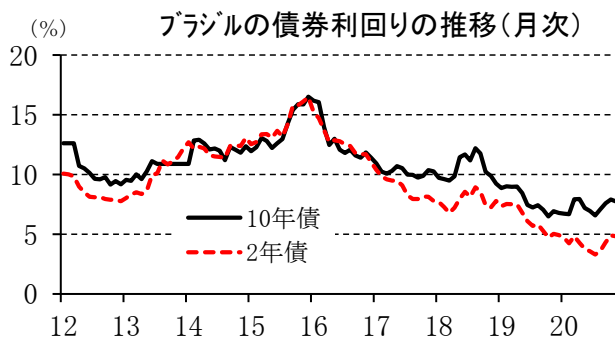
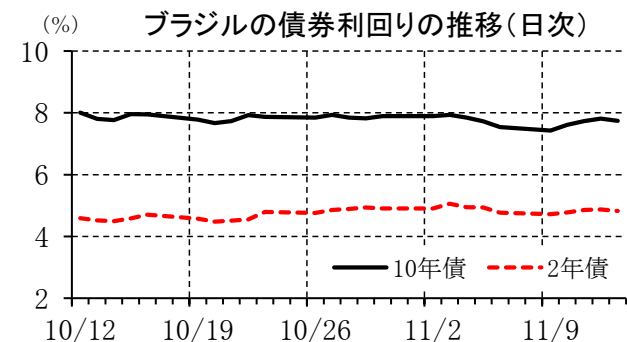
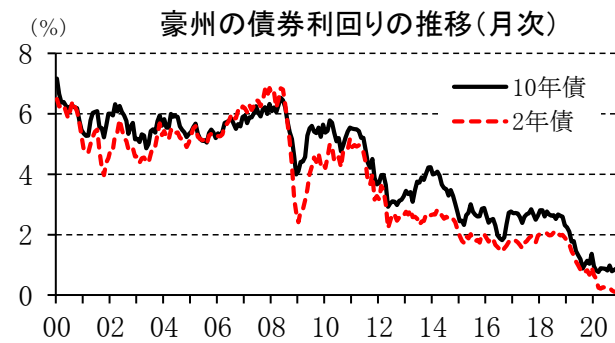
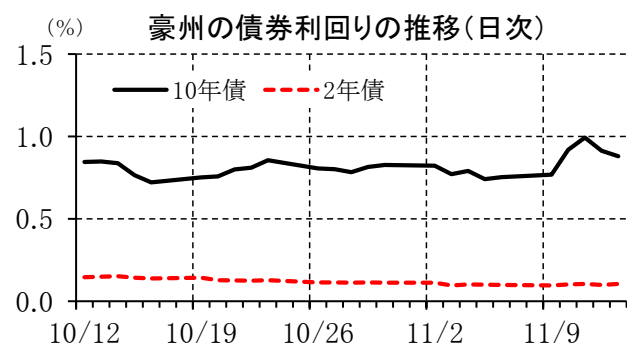
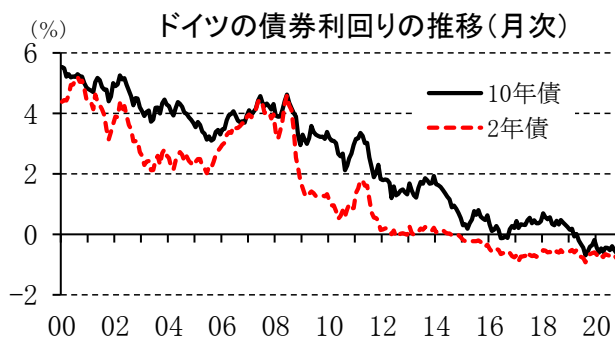
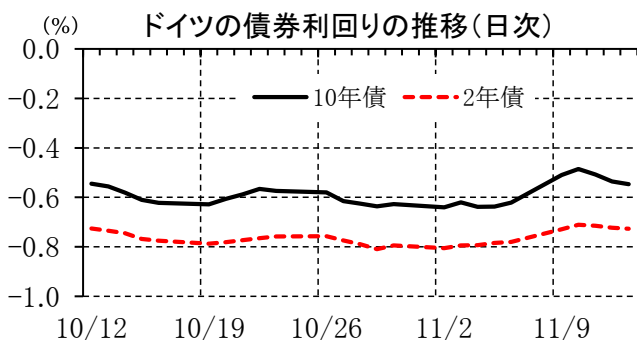
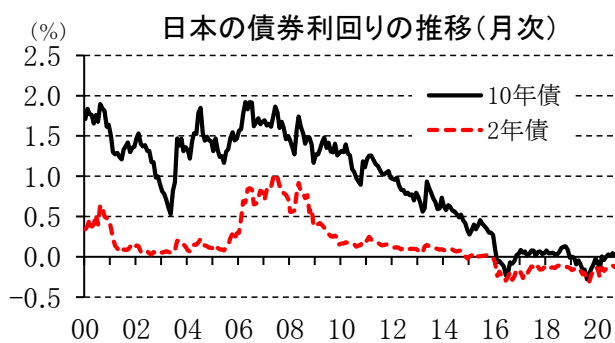
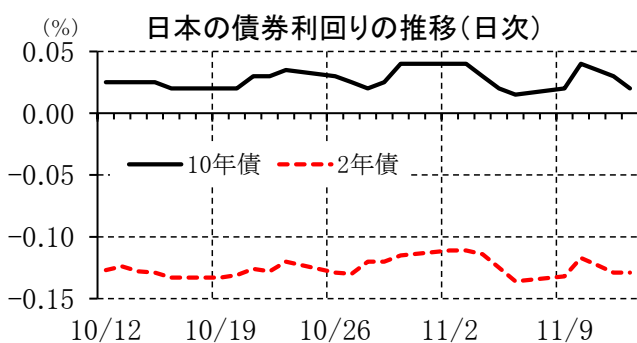
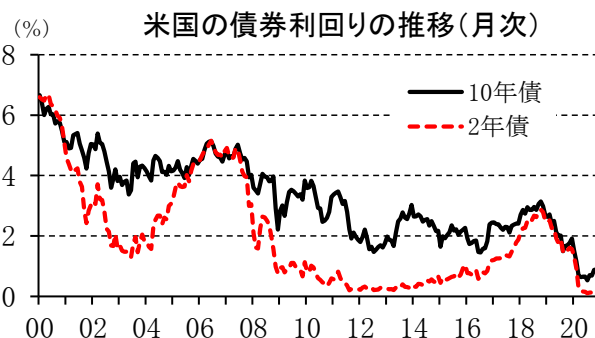
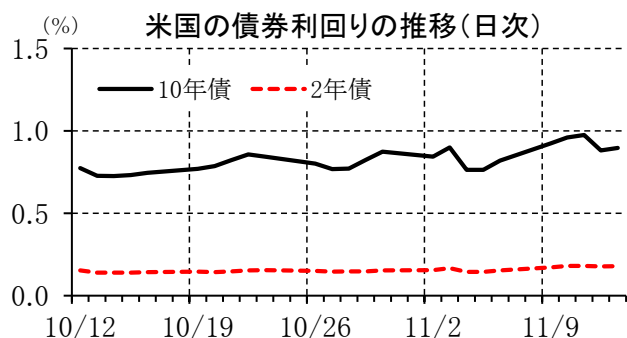
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

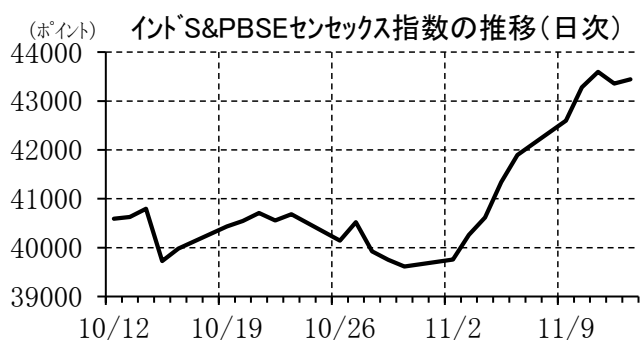
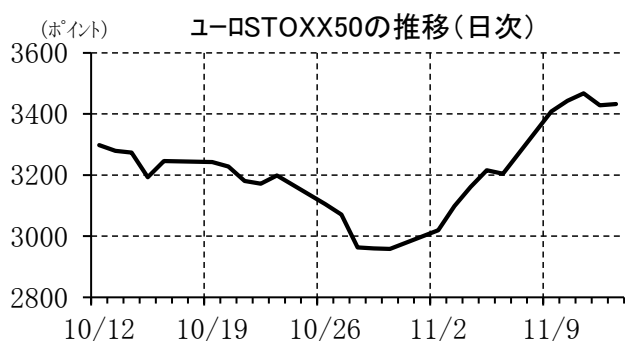
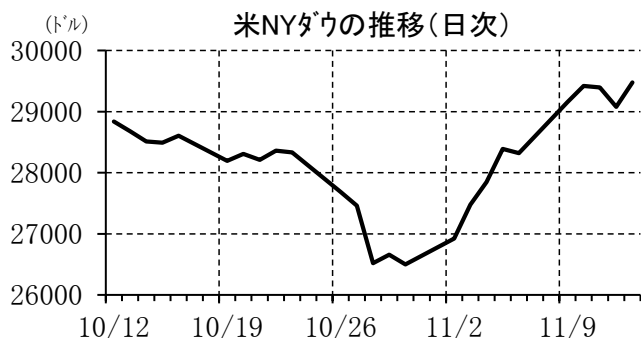
発表日	イベント	注目度	備考
11月16日(月)	日本：政井日銀審議委員講演		
	EU：欧州首脳会議（臨時）	★★	
	EU：デギント・ECB副総裁講演	★	
	米国：クリタ・FRB副議長講演	★	
11月17日(火)	EU：デギント・ECB副総裁講演	★	
	英国：ベイル・BOE総裁講演	★	
11月18日(水)	米国：NY連銀総裁講演	★	
11月19日(木)	EU：ラガルト・ECB総裁講演	★★★	
	EU：シュナーベル・ECB理事講演		
	EU：欧州首脳会議（臨時）	★★	
11月20日(金)	APEC首脳会合	★★	
	G20財務相会合	★★	
	EU：ラガルト・ECB総裁講演	★★★	
11月21日(土)	G20首脳会合	★★★	
11月22日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

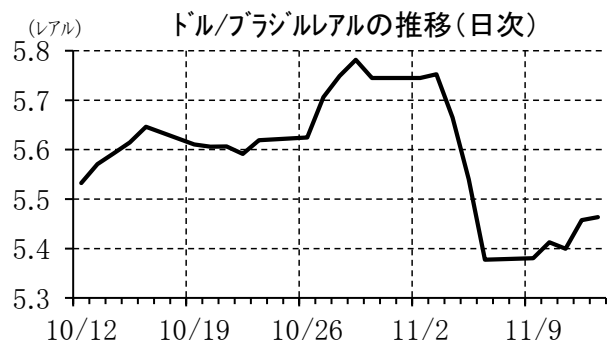
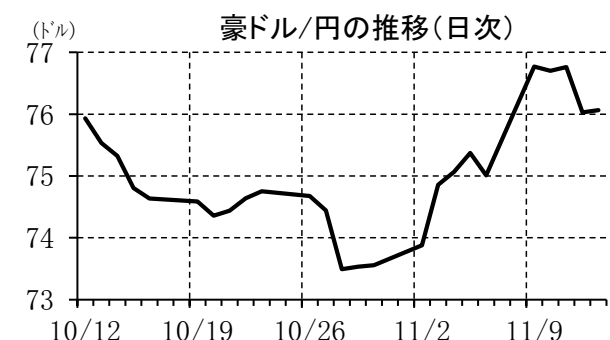
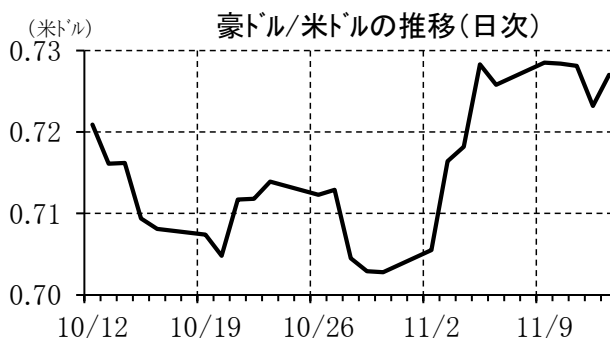
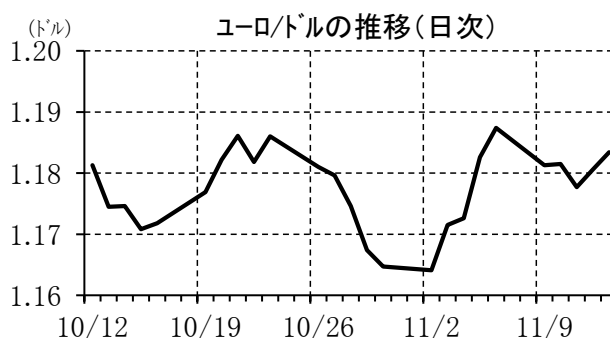
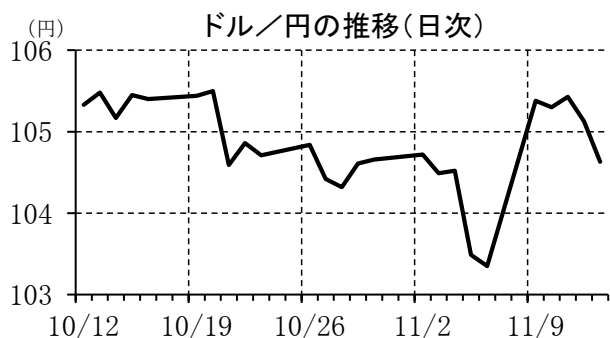
【債券利回り】



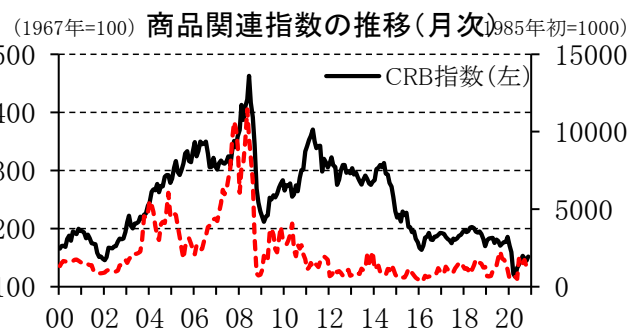
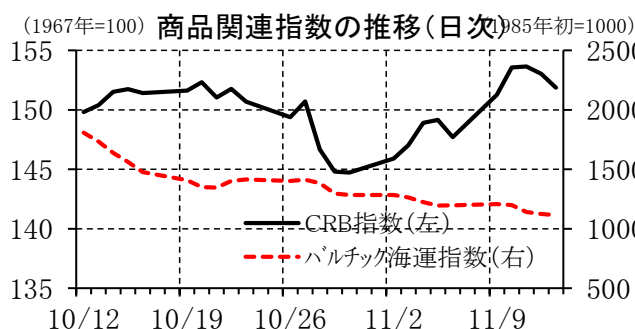
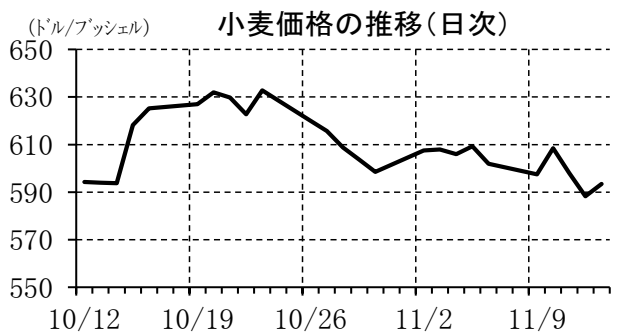
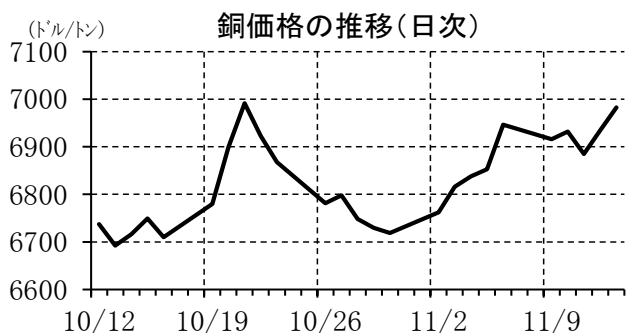
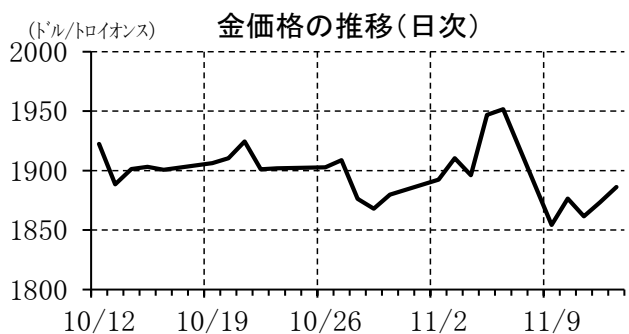
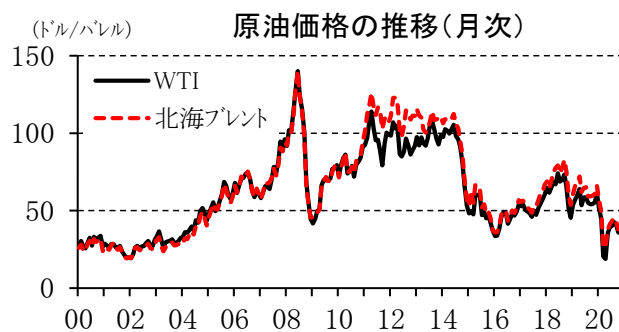
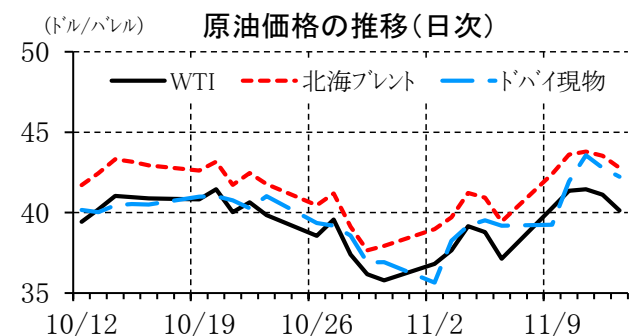
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。